



平成 29 年 4 月 21 日

各 位

会 社 名 I N E S T 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 伊 奈 聰
(コード番号：3390 東証 JASDAQ)
問 合 せ 先 管 理 本 部 長 片 野 良 太
(TEL：03-6892-3864)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 19 日に公表した平成 29 年 3 月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,800	△350	△355	△370	△7.61
今回予想修正 (B)	2,890	105	100	140	2.88
増減額 (B-A)	△910	455	455	510	
増減率 (%)	△23.9	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	3,831	158	125	△285	△5.88

2. 差異の理由

当社は、既存事業では従来より取り組んできた、事業規模に見合った人員配置、従業員一人当たりの生産性の向上、諸経費の削減等が奏功し、業績が順調に推移している一方で、平成 28 年 5 月 19 日付と平成 29 年 2 月 13 日付「新たな事業の開始に関するお知らせ」の通り、当期は予約システムなどのソリューションサービスの提供開始に向けたシステム開発や、顧客獲得にかかる費用など一時的な費用を大きく見込み、事業の早期収益化に向け、進めてまいりましたが、世の中のニーズにあう、クライアントやユーザーにとって、顧客満足が高いサービスを提供していく上で、ソリューションサービスの内容をより慎重に精査しているため、顧客開拓の積極的な活動が遅れた結果、前回予想より連結売上高は下回る見通しですが、新規事業にかけるシステム開発や営業員の人件費、顧客獲得に伴い発生する販売促進費を予定よりも低く抑えられたことにより、連結営業利益、連結経常利益、および親会社株主に帰属する当期純利益については、前回予想よりも上回る見込みとなりました。

以 上